

九州観光推進機構 活動レポート

— 2013年4月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 3月のトピックス (一部2月)

○ 九州中央地域連携推進協議会での講演 (2月21日:大分県佐伯市)

平成24年度九州中央地域連携推進協議会(会場:市保健福祉総合センター)にて、九州観光推進機構の豊島企画部次長が「九州地域ブランドと観光戦略」について基調講演を行いました。九州中央地域連携推進協議会(会長:佐伯市長、副会長熊本市長・延岡市長)は熊本・大分・宮崎の九州中央地域の市町村が多面的な交流・連携を図り、地域特性を活かした圏域の一体的な振興整備に資することを目的として活動しています。外国人入国者数の推移から韓国市場戦略と九州オルレの取り組み等、当日オープンしたばかりの九州オルレ二次コースに関しての情報も含めて講演いたしました。



○ ITB Berlin への参加 (3月6日~8日:ベルリン)

本年4月3日、KLM オランダ航空 アムステルダム=福岡線就航に伴い、欧州市場から九州への誘客拡大を図ることを目的として、ドイツ・ベルリンで開催される世界的な旅行商談会及び旅行博に出展するもので、九州の豊富な観光資源を欧州の旅行業界関係者にPRしました。合計27社の有力旅行社やメディア等と面談し、800社に九州のパフレットを配布しました。

○ 「日台教育旅行交流座談会」への参加 (3月8日:福岡)

観光庁のVJ事業「台湾における訪日教育旅行促進事業」の一環として、ヒルトン福岡シーホークを会場として実施された本年度第二回目の交流座談会に参加しました。台湾側からは学校・教育旅行の関係者、教育旅行取扱旅行会社等約60名、日本側からは、地方自治体・学校・教育旅行関係団体等の関係者約80名が出席し、「交流校を選定するうえでの課題について」を議題に、活発な意見交換が行われました。当機構が参加したテーブルでは、日本側への要望として、交流校選定のためのプラットフォームの設置や希望の多い日本でのホームステイへの配慮についての意見が数多く聞かれました。



○ 繁体字を用いたフェイスブックアカウントの開設 (3月8日)

台湾の個人旅行者に向けた九州への興味関心を喚起する手段の一つとして、繁体字で情報発信を行うフェイスブックのアカウントを開設しました。「楽しい列車の旅」をテーマとして設定のうえ、当機構の中国語ネイティブスタッフが運営を行います。「シェア」機能など情報発信メディアとしてのフェイスブックの特性を最大限に活用し、経費の抑制を図りつつ、JR九州など鉄道会社から入手する情報や沿線の旬のトピックスなどをタイムリーに提供するなど効果的な情報発信に努めてまいります。



○ 2012年度「第3回評議員会」「第3回理事会」を開催（3月15日、25日：福岡）

九州観光推進機構の2012年度「第3回評議員会」（3月15日）、「第3回理事会」（3月25日）を福岡市で開催しました。事務局から2013年度総会（5月）にお諮りする以下の事項について、評議員会の審議を経て、理事会で原案どおり承認されました。

- ・2012年度事業実施状況、2012年度補正予算(案)、2013年度事業計画(案)
 - 2013年度収支予算(案)、次期評議員の選任(案)、新規入会会員の承認
- また、総合特区についての報告がなされました。



○ 「九州アジア観光アイランド総合特区」地域協議会合同部会を開催（3月15日：福岡）

2月15日に総合特区の指定を受けたことから、今後、特区制度を活用するにあたり予定されている具体的作業・スケジュールについて協議会構成員に報告しました。

6月までの作業として、これから始まる「国と地方の協議会」での議論を経て、具体的事業を盛り込んだ特区計画を策定・申請することになることを確認しました。



○ 「トラベルガールズフェスタ2013」に出展（3月25日：東京）

リビング新聞主催の「トラベルガールズフェスタ2013」に九州観光推進機構ブースを出展し、九州女子旅のPRを行いました。このイベントは、リビング新聞会員限定で開催され、当日は751名の参加者がありました。会場は「くまモン」や「せんとくん」をはじめ各地のゆるキャラたちも駆けつけ、賑わいをみせました。その中で、当機構ブース内では、女子旅（美旅と鉄旅）ミニセミナーを各2回行い、多くの参加者から「行ってみたい」との感想が聞かれるなど、関心を持っていただきました。



○ ハースト婦人画報社への取材協力（3月）

ハースト婦人画報社「婦人画報」の「日本の名料亭へ」の中で福岡と大分の料亭を紹介する内容に協力しました。

今回は福岡「嵯峨野」、大分「筑紫亭」を紹介するとともに、麻生福岡県前知事、広瀬大分県知事の奥さまに紹介者としてご登場いただきました。京都などの代表的な料亭とともに九州の文化を紹介することができました。

※ ハースト婦人画報社「婦人画報」：10万部発行



○ 日経BP社への取材協力（3月）

日経BP社「日経おとなのOFF」のおとなの鉄道特集に協力し、JR九州の「ななつ星」と沿線の観光地、及び肥薩おれんじ鉄道の「おれんじ食堂」を紹介しました。全国の鉄道の記事となりましたが、その中でも一定のページをさいて紹介いただき、おとなの鉄道ファンへの有効的な告知が実現しました。

※ 日経BP社「日経おとなのOFF」：8万部発行



○ 小学館への取材協力（3月）

小学館「BE-PAL」の駅からはじまる物語に協力し、鹿児島県の「大隅大川原駅」とその周辺観光地、及び熊本県の「三角駅」（5月号）とその周辺観光地を歩く記事に協力しました。駅の魅力もさることながら、鹿児島編では「悠久の森」、三角編では天草の「樋合島」「高杣島」という自然あふれたエリアを紹介することができ、アウトドアファンに効果的なPRをすることができました。

※ 小学館「BE-PAL」：22万部発行



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 人事往来

4月に事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお申し上げます。

【転入者】 [] 内は派遣元

・企画部	次長	砂本 ^{すなもと}	八千代 ^{やちよ}	[福岡県]
	課長	和田 ^{わだ}	耕一 ^{こういち}	[玉名市]
	課長	岡本 ^{おかもと}	陽介 ^{ようすけ}	[唐津市]
・国内誘致推進部	次長	川中 ^{かわなか}	誠一 ^{せいいち}	[熊本県]
	次長	山口 ^{やまぐち}	哲矢 ^{てつや}	[九州旅客鉄道(株)]
・海外誘致推進部	部長	河野 ^{かわの}	哲郎 ^{てつろう}	[大分県]
	次長	鶴田 ^{つるた}	毅志 ^{たけし}	[全日本空輸(株)]
	次長	濱田 ^{はまだ}	圭史 ^{けいし}	[鹿児島県]
	次長	羅 ^ら	日欣 ^{にちきん}	[(株)JTB九州]
	課長	鮫嶋 ^{さめしま}	健司 ^{けんじ}	[西之表市]

○ 4月以降の主な事業

- ・平成25年度九州観光推進機構担当者会議（4月24日：福岡市）
- ・2013年度「第1回評議員会」開催（5月16日：福岡市）
- ・台湾「日本の観光・物産博2013」ブース出展（5月17日～19日）
- ・台湾における九州に特化した旅行番組制作ロケハン（5月下旬～6月上旬：九州7県）
- ・2013年度「第1回理事会」、「定時総会」開催（5月30日：福岡市）
- ・韓国・JNTOアウトバウンド商談会参加（6月6日：韓国・ソウル）
- ・韓国・プサン商談会（6月13日：韓国・プサン）
- ・香港ITE2013出展（6月13日～16日：香港）

*編集担当

新年度がはじまりました。

2013年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 佐藤

TEL:092-751-2943 FAX:092-751-2944

E-mail: info@welcomekyushu.jp